

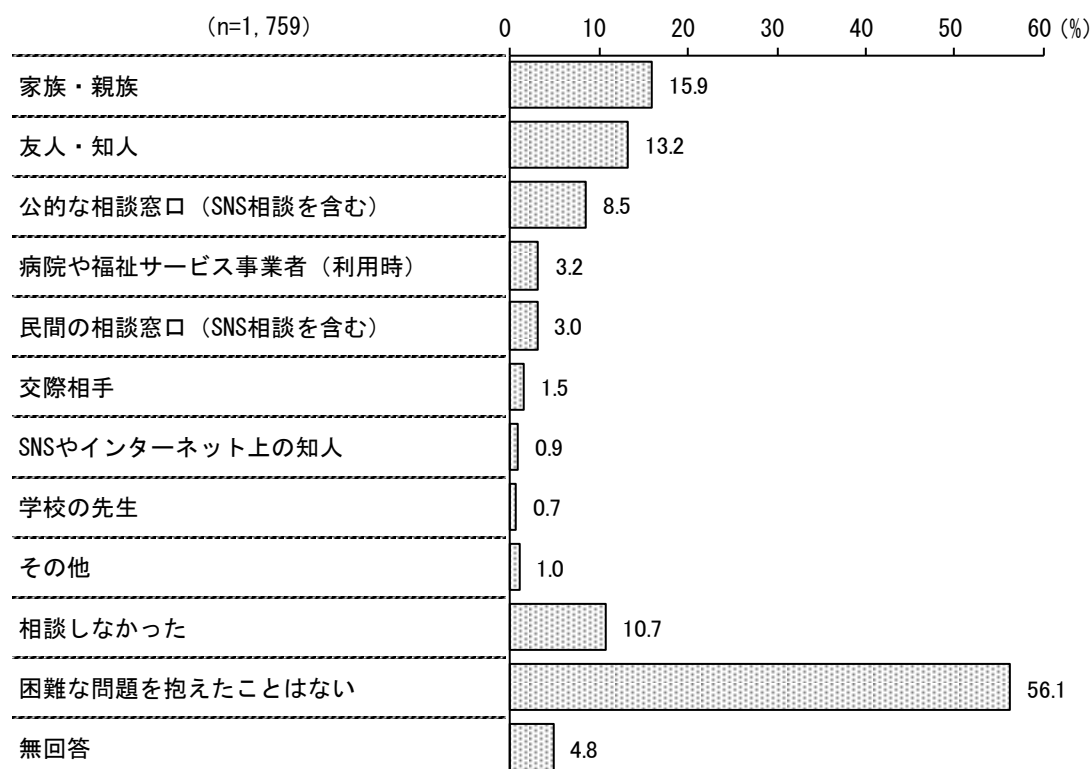
## 7 困難な問題を抱える女性への支援について

### （１）困難な問題を抱えた際の相談先

◇「家族・親族」が１割台半ば

問11 あなたは、これまでに生活困窮、DV被害、家族関係破綻など困難な問題を抱えた際、誰に相談したことがありますか。女性以外の方もお答えください。（○はいくつでも）

<図表 I－7－1> 困難な問題を抱えた際の相談先（複数回答）



困難な問題を抱えた際の相談先を聞いたところ、「家族・親族」（15.9%）が１割台半ばで最も高く、以下、「友人・知人」（13.2%）、「公的な相談窓口（SNS相談を含む）」（8.5%）、「病院や福祉サービス事業者（利用時）」（3.2%）が続く。

また、「困難な問題を抱えたことはない」（56.1%）は５割台半ば、「相談しなかった」（10.7%）は１割となっている。（図表 I－7－1）

#### 【地域別】

地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表 I－7－2）

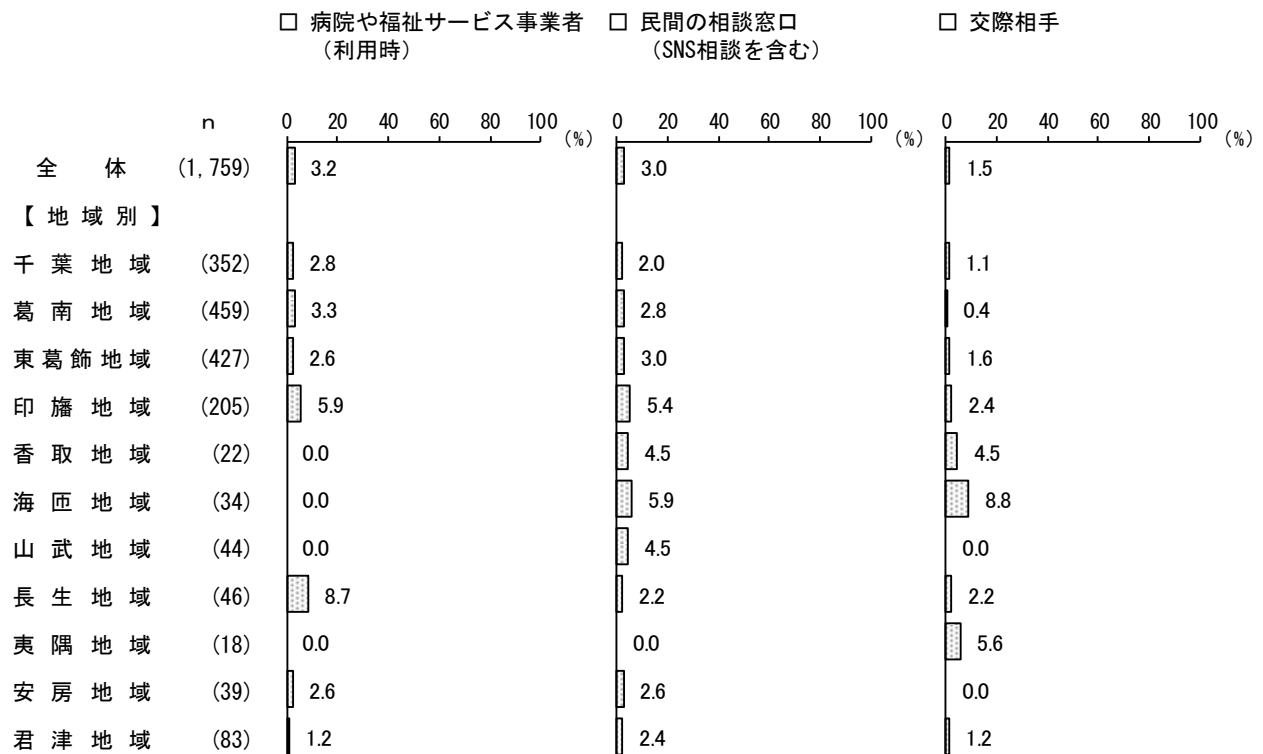
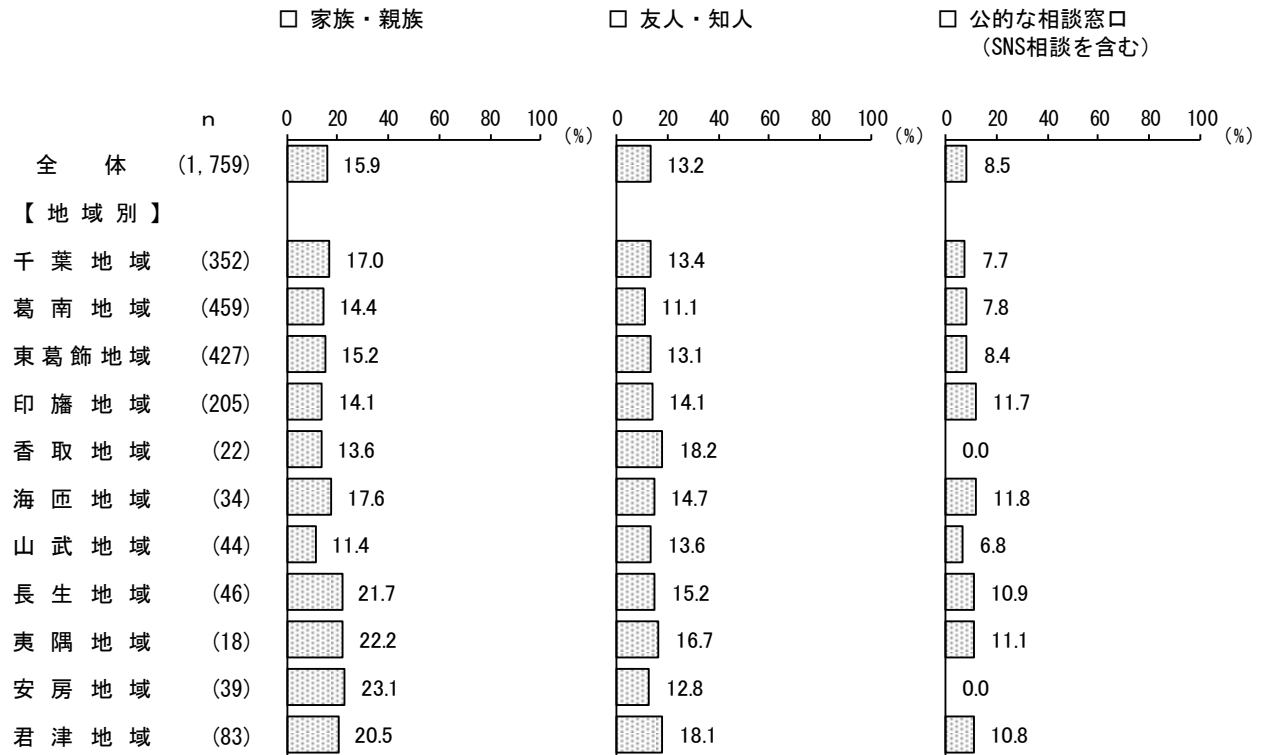
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「家族・親族」は女性の30代（26.2%）が２割台半ばで高くなっている。

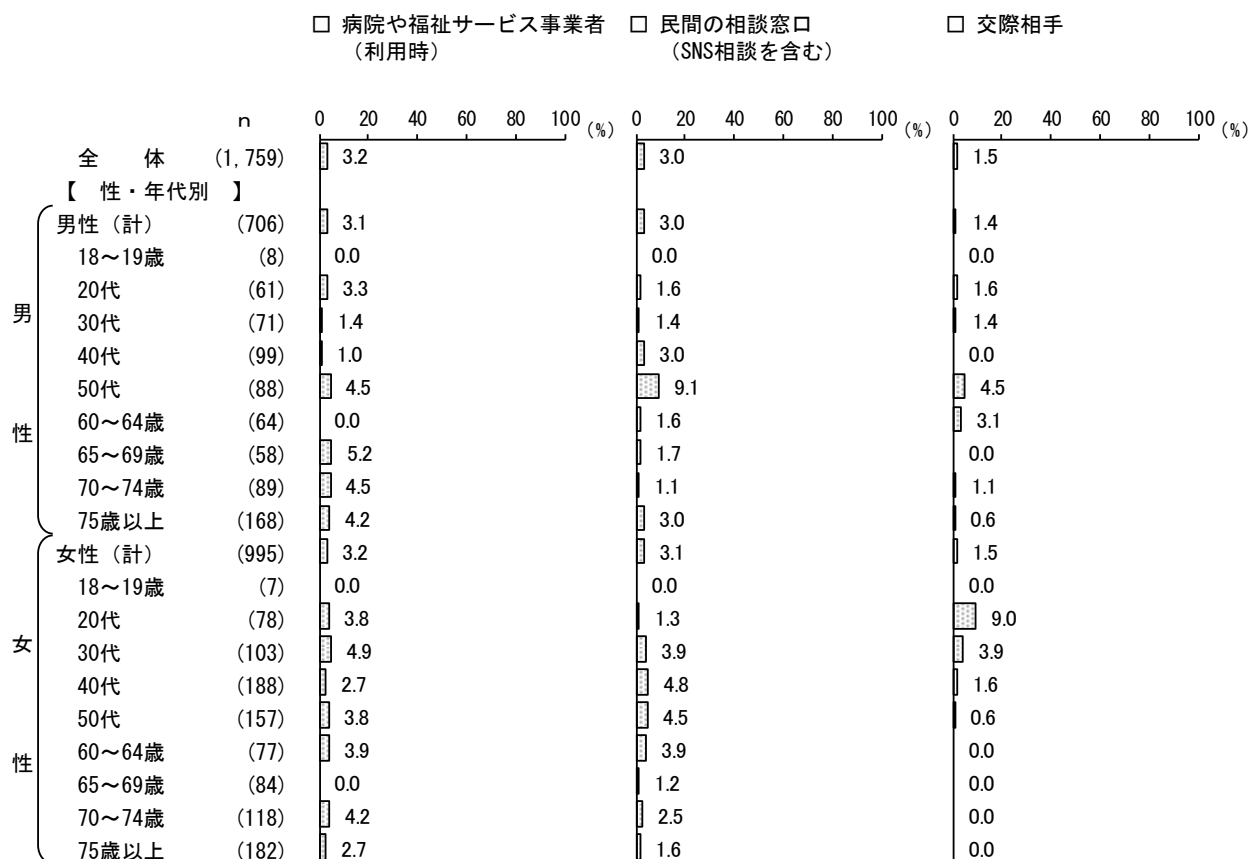
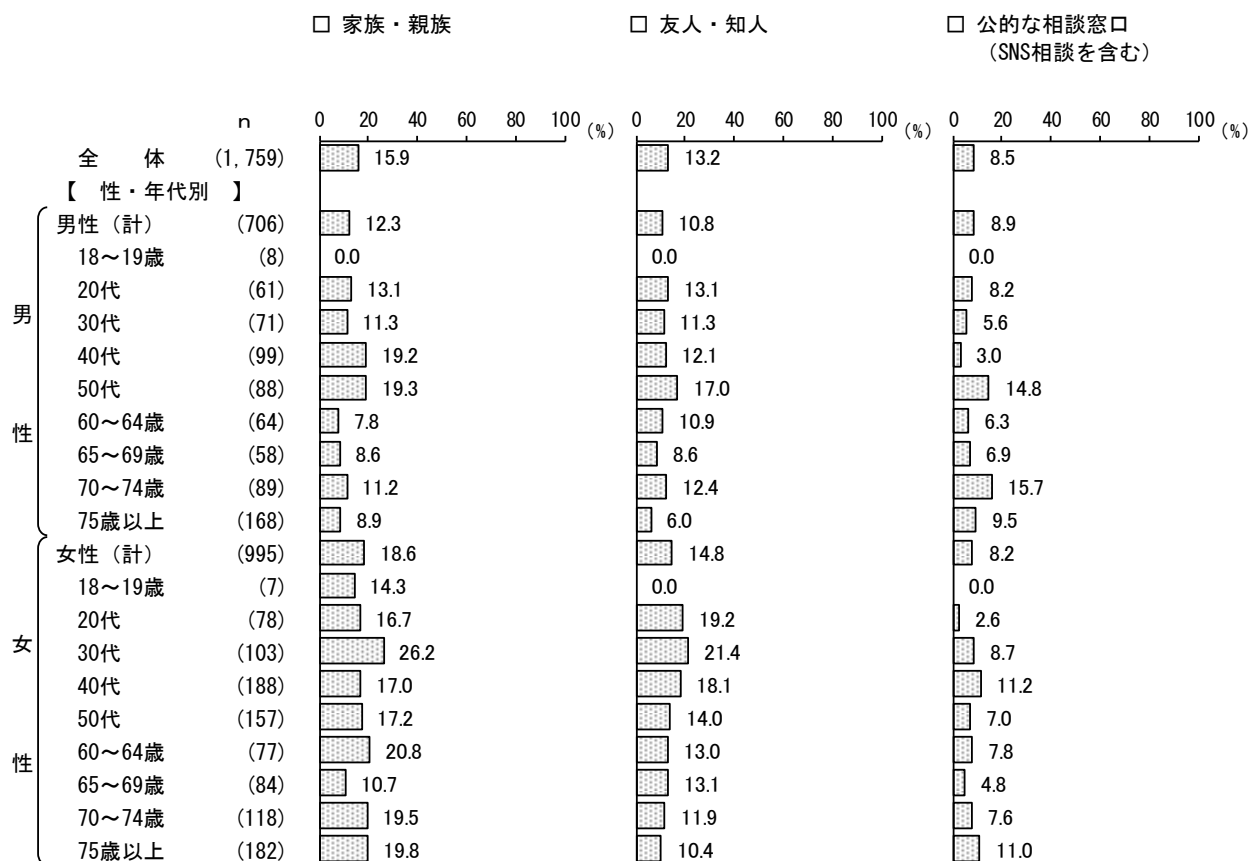
「友人・知人」は女性の30代（21.4%）が２割を超え、女性の40代（18.1%）が約２割で高くなっている。

「公的な相談窓口（SNS相談を含む）」は男性の70～74歳（15.7%）、男性の50代（14.8%）が１割台半ばで高くなっている。（図表 I－7－2）

＜図表 I－7－2＞困難な問題を抱えた際の相談先（複数回答）／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



第70回県政に関する世論調査（R 7 年度）



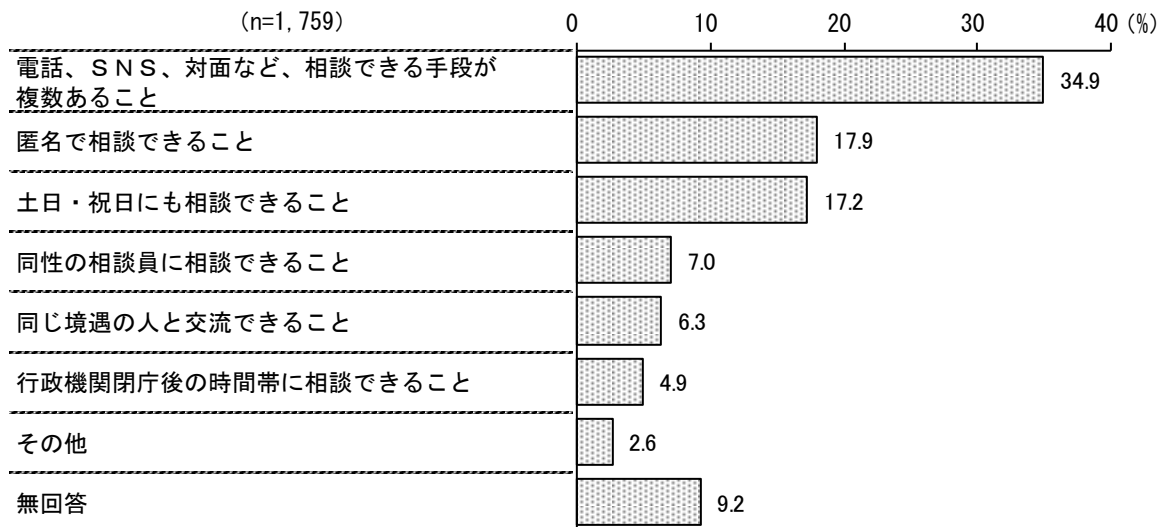
## （２）相談機関に相談しやすくするために必要なこと

◇「電話、SNS、対面など、相談できる手段が複数あること」が３割台半ば

問12 相談機関に相談しやすくするためには、どのようなことが必要ですか。

最もあてはまるものを選んでください。女性以外の方もお答えください。（○は１つだけ）

＜図表Ⅰ－７－３＞相談機関に相談しやすくするために必要なこと（単一回答）



相談機関に相談しやすくするために必要なことを聞いたところ、「電話、SNS、対面など、相談できる手段が複数あること」（34.9%）が３割台半ばで最も高く、以下、「匿名で相談できること」（17.9%）、「土日・祝日にも相談できること」（17.2%）、「同性の相談員に相談できること」（7.0%）が続く。（図表Ⅰ－７－３）

### 【地域別】

地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表Ⅰ－７－４）

### 【性・年代別】

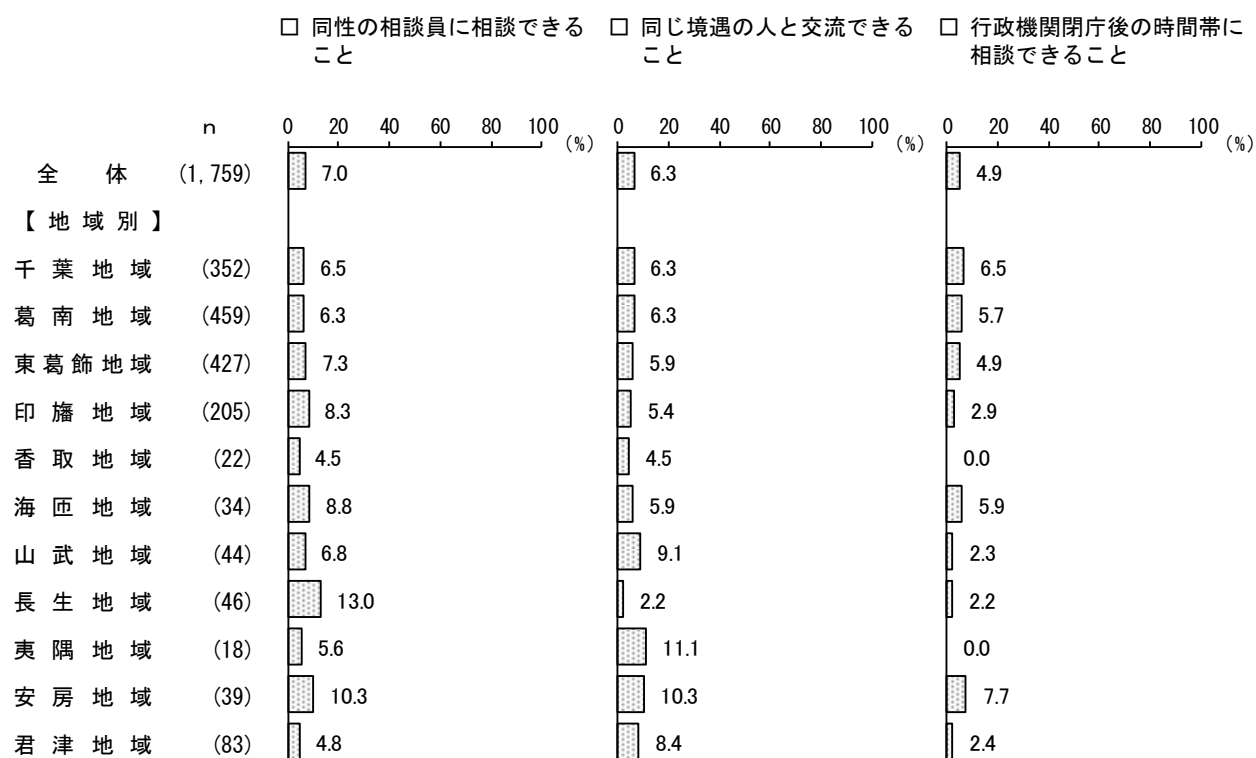
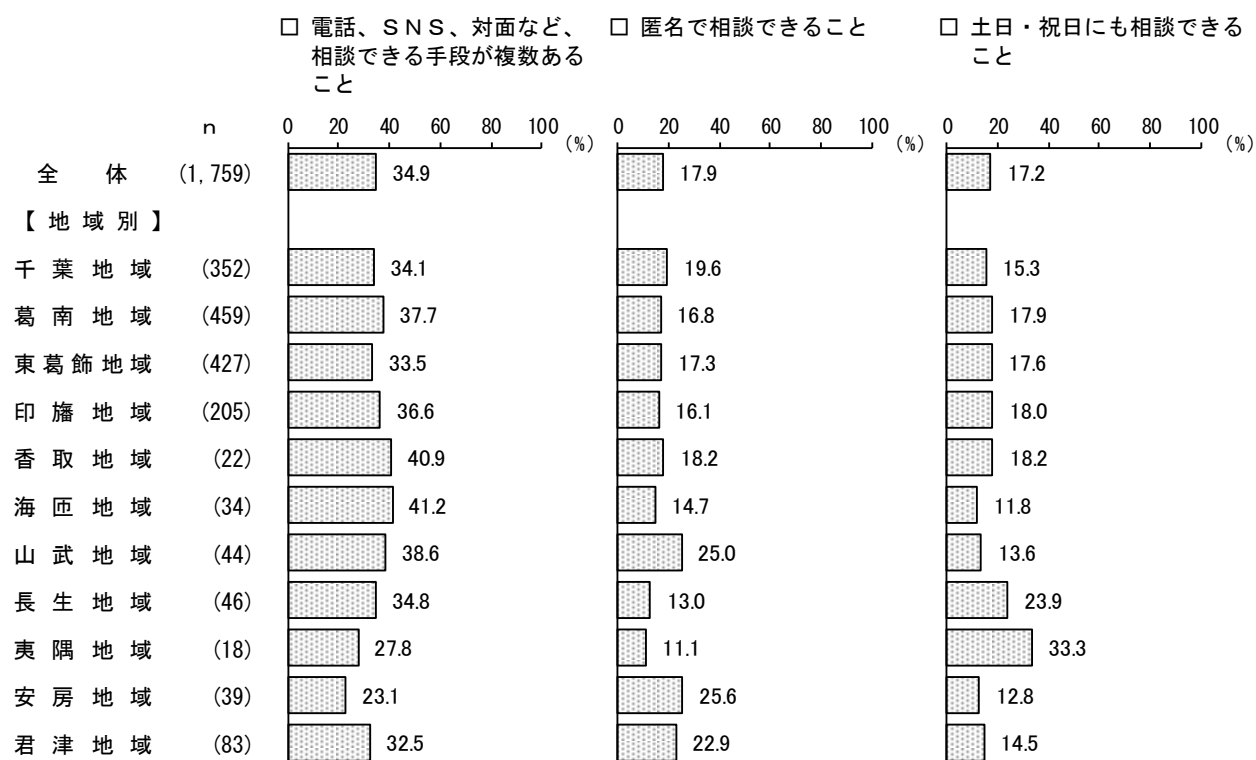
性・年代別にみると、「電話、SNS、対面など、相談できる手段が複数あること」は女性の65～69歳（47.6%）が約５割、男性の75歳以上（46.4%）、男性の70～74歳（44.9%）、女性の70～74歳（44.1%）が４割台半ばで高くなっている。

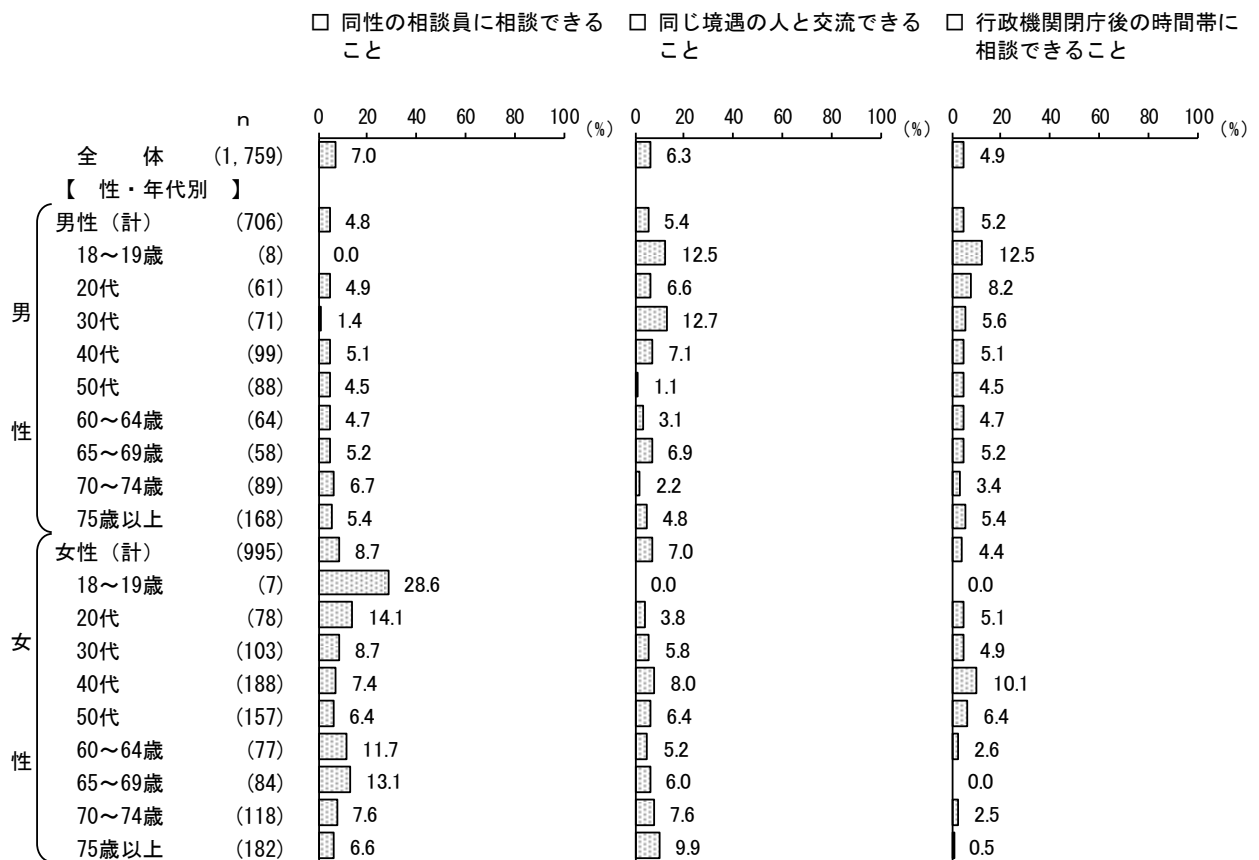
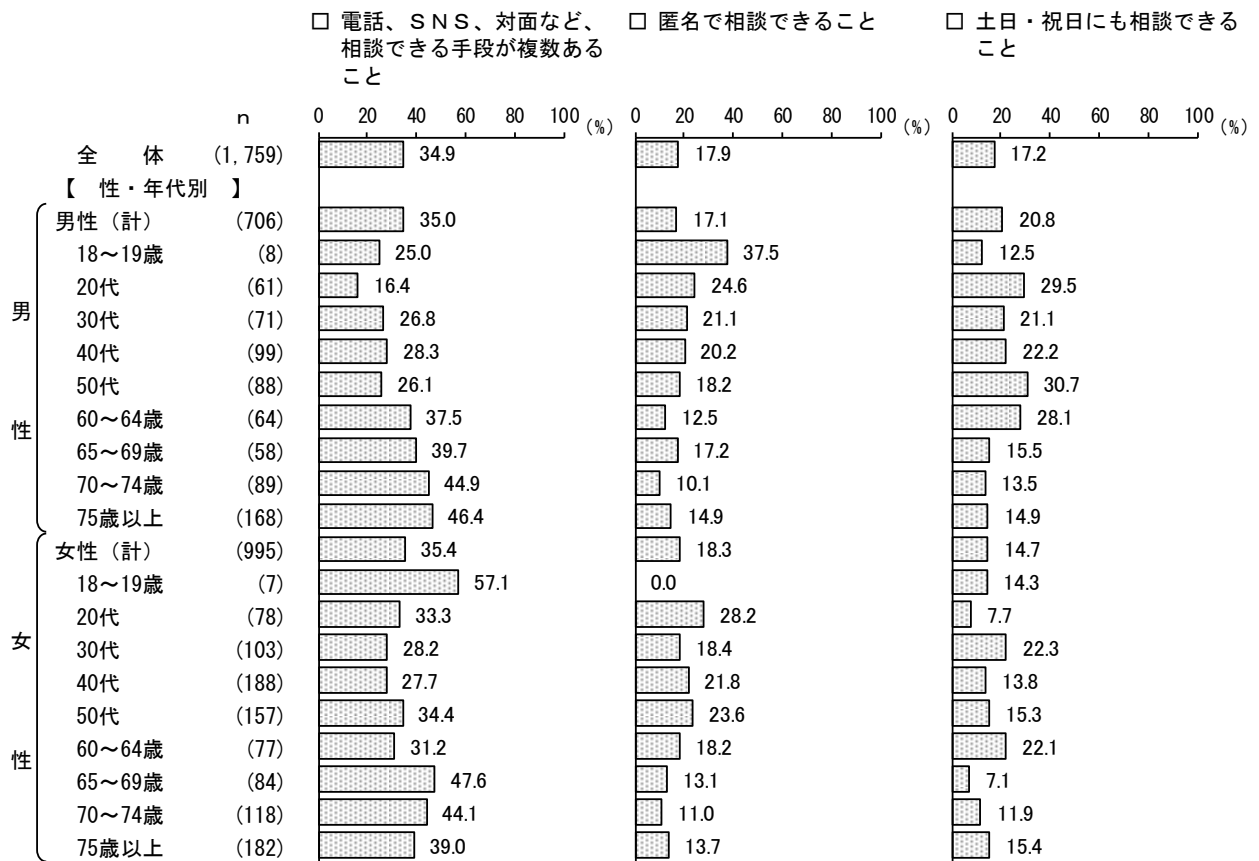
「匿名で相談できること」は女性の20代（28.2%）が約３割で高くなっている。

「土日・祝日にも相談できること」は男性の50代（30.7%）が３割、男性の60～64歳（28.1%）が約３割で高くなっている。（図表Ⅰ－７－４）

＜図表Ⅰ－７－４＞相談機関に相談しやすくするために必要なこと（単一回答）

／地域別、性・年代別（上位６項目）



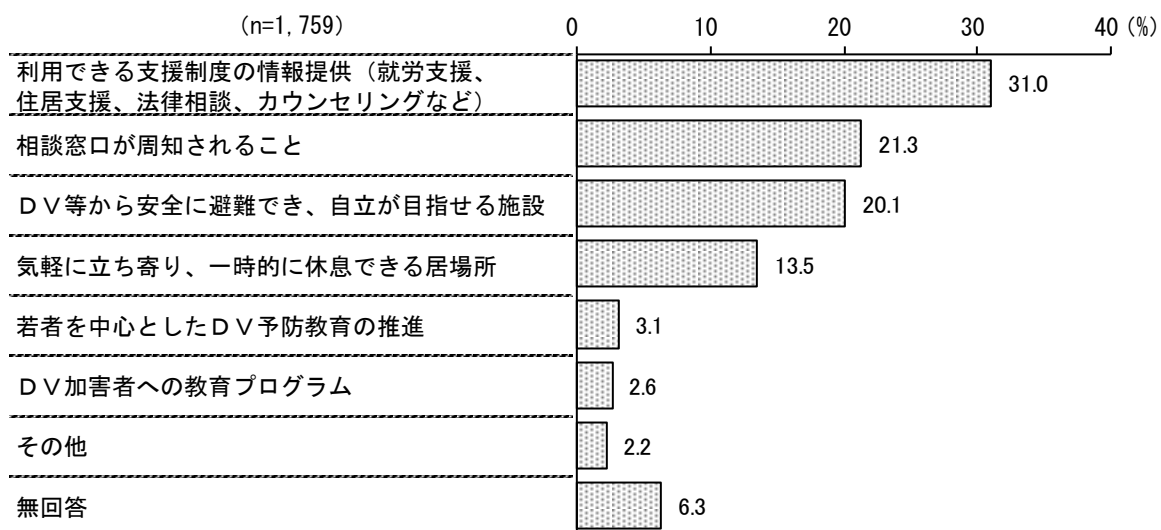


### （３）困難な問題を抱える女性に必要な支援や対策

◇「利用できる支援制度の情報提供（就労支援、住居支援、法律相談、カウンセリングなど）」が３割を超える

問13 困難な問題を抱える女性へどのような支援や対策があるとよいと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。女性以外の方もお答えください。（○は１つだけ）

＜図表Ⅰ－７－５＞困難な問題を抱える女性に必要な支援や対策（単一回答）



困難な問題を抱える女性に必要な支援や対策を聞いたところ、「利用できる支援制度の情報提供（就労支援、住居支援、法律相談、カウンセリングなど）」（31.0%）が３割を超えて最も高く、以下、「相談窓口が周知されること」（21.3%）、「DV等から安全に避難でき、自立が目指せる施設」（20.1%）、「気軽に立ち寄り、一時的に休息できる居場所」（13.5%）が続く。（図表Ⅰ－７－５）

#### 【地域別】

地域別にみると、「気軽に立ち寄り、一時的に休息できる居場所」は“君津地域”（21.7%）で高くなっている。（図表Ⅰ－７－６）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「利用できる支援制度の情報提供（就労支援、住居支援、法律相談、カウンセリングなど）」は男性の70～74歳（49.4%）が約５割で高くなっている。

「相談窓口が周知されること」は男性の65～69歳（36.2%）と男性の60～64歳（34.4%）が３割台半ば、男性の75歳以上（32.1%）が３割を超えて高くなっている。

「DV等から安全に避難でき、自立が目指せる施設」は女性の40代（26.1%）が２割台半ばで高くなっている。（図表Ⅰ－７－６）

＜図表 I－7－6＞困難な問題を抱える女性に必要な支援や対策（単一回答）

／地域別、性・年代別（上位 6 項目）

